



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日
東

上場会社名 ミナトホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 6862 URL <https://www.minato.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼グループCEO (氏名) 若山 健彦
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 三宅 哲史 (TEL) 03-5733-1710
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,193	10.5	136	159.1	83	32.4	39	7.9
2025年3月期第1四半期	4,701	△4.4	52	△83.2	63	△81.5	37	△95.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 78百万円(49.7%) 2025年3月期第1四半期 52百万円(△94.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 5.39	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	5.00	4.97

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、2026年3月期第1四半期については潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第1四半期	百万円 18,433	百万円 5,885	% 31.9
2025年3月期	17,553	5,910	33.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,883百万円 2025年3月期 5,908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 14.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	24,000	△2.2	850	10.8	750	28.7	480	28.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 2社(社名) 株式会社ブレーン
 ダイキサウンド株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	7,925,714株	2025年3月期	7,925,714株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	516,176株	2025年3月期	516,176株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	7,409,538株	2025年3月期1Q	7,407,569株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)における我が国経済は、物価上昇の影響から個人消費は伸び悩み、回復の勢いは依然として限定的でした。企業収益については、原材料価格の高止まりやエネルギーコストの上昇が続く中で圧迫され、海外需要の回復も鈍く、新規受注の伸び悩みや設備投資の先送りが見られるなど、全体として力強さを欠く推移となりました。世界経済においては、世界的なインフレ圧力や地政学リスクが長期化し、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要な市場である半導体関連市場におきましては、パソコン、サーバー需要の回復は依然として顕在化せず、部品調達や製品在庫の調整が継続しております。

このような経営環境のもと、当社は、デジタル分野において他企業との連携やM&Aを進めることでコンソーシアム(共同体)を形成し、これを拡大することでシナジーを創出し企業価値を高めていくことを柱とする「デジタルコンソーシアム構想」を成長戦略として位置付け、「デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する」というビジョンを推進しております。

なお、当社では2025年5月1日付で株式会社ブレーン(以下、「ブレーン」といいます。)及びダイキサウンド株式会社(以下、「ダイキサウンド」といいます。)の株式を取得し、2025年6月30日現在の連結貸借対照表より両社を連結対象に含めております。今回の株式取得により、当社グループのネットワークや経営リソースを活用することで、ダイキサウンド及びブレーンが手掛ける音楽コンテンツサービス、映像編集、ライブ・エンターテインメント事業のさらなる成長が期待できます。また、当社グループ各社との連携によるシナジーの創出により、顧客基盤の拡大や顧客向けに提案できるサービスの多様化、グループ全体の規模拡大および中長期的な成長性の向上が期待できること等から、当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、各セグメントでの売上が順調に伸長し、売上高は5,193百万円(前年同期比10.5%増)となりました。売上高の増加に加えて、これまでの設備投資に伴う減価償却費が前年同期比で減少した影響もあり、営業利益は136百万円(前年同期比159.1%増)、経常利益は83百万円(前年同期比32.4%増)、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は39百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①デジタルデバイス

当セグメントでは、主要製品のDIMM(Dual Inline Memory Module)及びSSD(Solid State Drive)の主要調達部材、特にDRAMを中心とする半導体メモリ製品の市場価格が上昇しました。サーバー、パソコン、スマートフォン等への需要は依然として本格的な回復には至っておらず、当社顧客におきましても、パソコンメーカーの販売台数は低調のまま推移しました。また、その他の産業系顧客においても在庫調整の継続が見られました。このような市場環境においても、新規案件の獲得が進んだことにより、売上高は前年同期を上回りました。ただし、前年同期と比べて高採算案件の比率が低下したことから、利益率は前年同期と比べて低下いたしました。

これらの結果、売上高は2,787百万円(前年同期比11.4%増)、営業利益は275百万円(前年同期比23.9%減)となりました。

②デジタルエンジニアリング

ROM書き込みサービス事業におきましては、日本サムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと共同で実施する国内大手メーカーに向けたプロジェクトにおいて、書き込み数量が前年同期比で増加し、売上高は増加しました。また、これまでの設備投資に伴う減価償却費が減少したことが、利益の増加に寄与しました。

デバイスプログラマ事業においては、東南アジア向けにデバイスプログラマや変換アダプタの受注が増加しましたが、全体では顧客の生産調整が続いた影響から、販売実績は前年同期比で減少しました。

ディスプレイソリューション事業においては、引き続きショールーム向けの大型タッチパネルの導入があった一方で、超薄型サイネージ「WiCanvas」の大型案件の受注が減少したほか、ATM向けタッチパネルの受注減などがあり、販売実績は前年同期比で減少しました。

これらの結果、売上高は710百万円(前年同期比11.2%増)、営業利益は39百万円(前年同期は83百万円の損失)となりました。

③ICTプロダクツ

テレワークソリューション事業においては、前々期より取り扱いを開始した新たなデジタル会議システムの販

売が本格化し、据置型デジタル会議システムやウェブカメラ等のUSBデバイスにおいて販売実績が前年同期比で増加しました。

デジタル関連機器事業においては、第1四半期は例年通り需要が軟調に推移したものの、液晶モニターや周辺機器の販売は堅調に推移し、利益の確保に貢献しました。

これらの結果、売上高は1,712百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は57百万円（前年同期は16百万円の損失）となりました。

④その他

Webサイトの構築や広告の制作プロデュース、マーケティングのコンサルティング事業、システム構築や技術者派遣事業、国内外のベンチャー企業への投資や太陽光発電事業等のアセット投資などを手掛けております。

これらの結果、売上高は124百万円（前年同期比36.3%増）、営業損失は5百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、ブレーンおよびダイキサウンドを新たに連結範囲に追加したこと等により、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、12,567百万円となりました。これは、売掛金が122百万円、その他流動資産に含まれる短期貸付金が470百万円、前渡金が58百万円それぞれ減少したものの、商品及び製品が425百万円、営業投資有価証券が263百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、ブレーンおよびダイキサウンドを新たに連結範囲に追加したこと等により、前連結会計年度末に比べて16.6%増加し、5,866百万円となりました。これは主に、のれんが856百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会期年度末に比べて5.0%増加し、18,433百万円となりました。

（負債）

流動負債は、ブレーンおよびダイキサウンドを新たに連結範囲に追加したこと等により、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、10,214百万円となりました。これは、未払法人税等が150百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が219百万円、短期借入金が300百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、ブレーンおよびダイキサウンドを新たに連結範囲に追加したこと等により、前連結会計年度末に比べて32.3%増加し、2,334百万円となりました。これは、長期借入金が555百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて7.8%増加し、12,548百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、5,885百万円となりました。これは、配当金の支払により利益剰余金が103百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益が39百万円計上されたこと、その他有価証券評価差額金が44百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月12日に公表しました通期の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,004,591	2,113,299
電子記録債権	436,260	512,187
売掛金	3,754,057	3,631,981
営業投資有価証券	773,350	1,037,329
商品及び製品	3,025,246	3,450,715
仕掛品	71,389	61,340
原材料及び貯蔵品	910,686	847,525
前払費用	402,299	424,971
その他	1,174,060	628,130
貸倒引当金	△28,705	△139,970
流動資産合計	12,523,238	12,567,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,622,490	1,641,424
減価償却累計額	△298,212	△321,878
建物及び構築物（純額）	1,324,277	1,319,545
工具、器具及び備品	2,298,562	2,300,083
減価償却累計額	△1,414,871	△1,499,689
工具、器具及び備品（純額）	883,691	800,394
土地	633,104	633,772
その他	305,903	359,041
減価償却累計額	△122,316	△131,831
その他（純額）	183,587	227,209
有形固定資産合計	3,024,661	2,980,922
無形固定資産		
のれん	134,243	990,811
その他	45,995	45,325
無形固定資産合計	180,238	1,036,136
投資その他の資産		
投資有価証券	725,003	733,566
敷金及び保証金	486,865	496,751
破産更生債権等	47,473	47,195
繰延税金資産	131,557	101,895
その他	541,979	577,359
貸倒引当金	△107,796	△107,518
投資その他の資産合計	1,825,083	1,849,251
固定資産合計	5,029,983	5,866,310
資産合計	17,553,221	18,433,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,229,774	1,449,580
短期借入金	6,800,000	7,100,000
1年内返済予定の長期借入金	671,124	667,886
未払金	255,946	279,796
未払法人税等	180,685	29,814
契約負債	432,497	425,695
賞与引当金	49,590	10,076
製品保証引当金	1,492	931
その他	258,211	250,561
流動負債合計	9,879,321	10,214,342
固定負債		
長期借入金	1,599,263	2,154,581
退職給付に係る負債	47,991	46,149
繰延税金負債	5,797	4,581
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	16,223	34,482
固定負債合計	1,763,704	2,334,224
負債合計	11,643,026	12,548,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,086,720	1,086,720
資本剰余金	1,537,114	1,537,114
利益剰余金	3,566,339	3,502,526
自己株式	△337,490	△337,490
株主資本合計	5,852,683	5,788,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,733	65,397
土地再評価差額金	8,444	8,444
為替換算調整勘定	26,838	21,009
その他の包括利益累計額合計	56,016	94,851
非支配株主持分	1,495	1,531
純資産合計	5,910,195	5,885,254
負債純資産合計	17,553,221	18,433,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,701,074	5,193,330
売上原価	3,760,843	4,106,260
売上総利益	940,231	1,087,069
販売費及び一般管理費	887,534	950,518
営業利益	52,696	136,550
営業外収益		
受取利息	1,317	1,330
為替差益	15,902	—
受取手数料	—	1,398
受取補償金	—	1,321
その他	8,980	1,365
営業外収益合計	26,199	5,417
営業外費用		
支払利息	11,266	21,876
為替差損	—	19,800
その他	4,280	16,408
営業外費用合計	15,546	58,085
経常利益	63,349	83,882
特別利益		
固定資産売却益	—	961
投資有価証券売却益	7,329	—
特別利益合計	7,329	961
特別損失		
固定資産売却損	—	462
固定資産除却損	105	42
特別損失合計	105	504
税金等調整前四半期純利益	70,572	84,338
法人税、住民税及び事業税	19,855	20,105
法人税等調整額	13,705	24,276
法人税等合計	33,560	44,381
四半期純利益	37,011	39,957
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,008	39,920

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	37,011	39,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,995	44,663
為替換算調整勘定	5,608	△5,829
その他の包括利益合計	15,604	38,834
四半期包括利益	52,616	78,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,612	78,755
非支配株主に係る四半期包括利益	3	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			
	デジタルデバイス	デジタルエンジニアリング	ICTプロダクツ	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,437,088	634,889	1,539,733	4,611,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,300	4,225	21,004	90,530
計	2,502,388	639,115	1,560,737	4,702,241
セグメント利益又は 損失(△)	361,298	△83,660	△16,775	260,862

(単位：千円)

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計 算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	89,363	4,701,074	—	4,701,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,785	92,315	△92,315	—
計	91,148	4,793,390	△92,315	4,701,074
セグメント利益又は 損失(△)	△6,892	253,969	△201,273	52,696

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webサイト構築事業・環境エレクトロニクス事業・システム構築、技術者派遣事業、ベンチャー投資事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△201,273千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			
	デジタルデバイス	デジタルエンジニアリング	ICTプロダクツ	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,700,144	705,788	1,664,296	5,070,229
セグメント間の内部 売上高又は振替高	87,356	4,591	48,580	140,528
計	2,787,501	710,380	1,712,876	5,210,758
セグメント利益又は 損失(△)	275,102	39,676	57,558	372,337

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計 算書計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	123,100	5,193,330	—	5,193,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,117	141,646	△141,646	—
計	124,218	5,334,976	△141,646	5,193,330
セグメント利益又は 損失(△)	△5,391	366,945	△230,394	136,550

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webサイト構築事業・環境エレクトロニクス事業・システム構築、技術者派遣事業、ベンチャー投資事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△230,394千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	163,203千円	117,751千円
のれんの償却額	6,266	6,266